

事務事業チェックシート

事務事業No **10564** 事業名 **スカイタウンつつじが丘形成事業（経常）**

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	1	居住環境の整備
取組方針	1	良好な居住環境の確保

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	住宅費		
	目	住宅管理費		
	大事業	住宅管理事業		
	中事業	スカイタウンつつじが丘形成事業（経常）		

事業種別	継続	関連個別計画	
事業年度	H20 ~	担当課・担当課長・Tel	住宅政策課 大河内 孝則 435-1099
事業実施の根拠法令		関連課	

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	本市の分譲地であるスカイタウンつつじが丘の土地を所有する者及び市民が自然に親しみ、相互に交流を広げる場を提供することにより、スカイタウンつつじが丘の付加価値を高め販売を促進することを目的とする。		スカイタウンつつじが丘菜園をスカイタウンつつじが丘の土地を所有する者及び本市に住所を有する者に限り貸し付ける。 全39区画 貸付料 1区画あたり年額8,640円 既購入者 総区画数の3分の2以内（優先区画） 新規購入者 優先区画のうち2分の1以内（新規購入者枠） 募集方法 既購入者区画（自治会回覧で募集）、新規購入者区画（随時募集）、一般区画（市報で募集）申込者数が募集区画数を上回った場合は、公開抽選 維持管理 防草、パーゴラ等の維持管理等			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	39区画の市民菜園をスカイタウンつつじが丘の住民及び一般市民に貸し出し、その維持管理を行う。 （貸出実績） 一般 15区画 既購入者 15区画 新規購入者 1区画	39区画の市民菜園をスカイタウンつつじが丘の住民及び一般市民に貸し出し、その維持管理を行う。 （貸出実績） 一般 17区画 既購入者 16区画 新規購入者 0区画	菜園付近の道路工事を行うため、貸し出しは中断するが、維持管理は行う。	スカイタウンつつじが丘菜園をスカイタウンつつじが丘の土地を所有する者及び本市に住所を有する者に貸し出し、その維持管理を行う。	スカイタウンつつじが丘菜園をスカイタウンつつじが丘の土地を所有する者及び本市に住所を有する者に貸し出し、その維持管理を行う。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,150	146	1,133	145	443	257	52	0	52	0
伸び率（%）	1.9%	6.6%	△1.5%	△0.7%	△60.9%	77.2%	△88.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,928	5,803	5,823	6,621	6,634	6,394	6,634	0	6,634
	正規職員以外	836	638	613	432	249	249	249	0	249
	小計	5,764	6,441	6,436	7,053	6,883	6,643	6,883	0	6,883
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	336	265	336	281	0	0	336	0	336	0
一般財源（税等）	814	△119	797	△136	443	257	△284	0	△284	0
所要人数（人）	正規職員	0.62	0.73	0.73	0.83	0.83	0.80	0.83	0.00	0.83
	正規職員以外	0.38	0.29	0.27	0.19	0.10	0.10	0.10	0.00	0.10
主な予算内訳	管理委託料 443千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	菜園貸し出し件数	件	目標値	39	39	0	39	39
			実績値	31	33	0		
			達成度(%)	79.5%	84.6%	0%	0%	%
成果指標	分譲地販売区画数	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	11	14	6		
			達成度(%)	110%	140%	60%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成30年度は、菜園付近の道路工事を行うため貸し出しを中断したが、土地の管理業務を行った。平成29年度は、39区画中、既購入者枠16区画及び一般市民枠17区画の計33区画が利用され、つつじが丘住民及び地域住民に自然とふれあい耕作する喜びを提供することができた。また、新規分譲地購入の特典としての優先枠を設け販売を促進するという事業目的はおおむね達成されている。
見直し・改善内容	新規購入者区画の利用者が少なく、他の区画の需要が多いため、区画の割り振りを検討することも必要である。